

# D ドライブライン / アクスル

## PR プロペラシャフト

フロントプロペラシャフト .....	2	・作業上の注意 .....	5
・車載上の点検 .....	2	・車載上の点検 .....	5
・取り外し、取り付け .....	2	・取り外し、取り付け .....	6
サービスデータ .....	4	・分解、組み立て .....	8
・プロペラシャフト軸方向遊び .....	4	サービスデータ .....	11
・プロペラシャフト振れ .....	4	・プロペラシャフト軸方向遊び .....	11
・締付トルク .....	4	・プロペラシャフト振れ .....	11
リヤプロペラシャフト .....	5	・締付トルク .....	11

A

B

C

PR

E

F

G

H

I

J

K

L

## フロントプロペラシャフト

PF3:37200

### 車載上の点検

JDS002CR

#### プロペラシャフト振れ点検

高速時に振動が発生しているときは、最初にプロペラシャフトの振れを点検する。

1. 車両をリフトアップする。
2. ファイナルドライブのコンパニオンフランジを手で回転させながら、プロペラシャフトの振れを4～5箇所で測定する。

振れ限度値 : 0.6mm 以下

#### プロペラシャフト振れ測定点

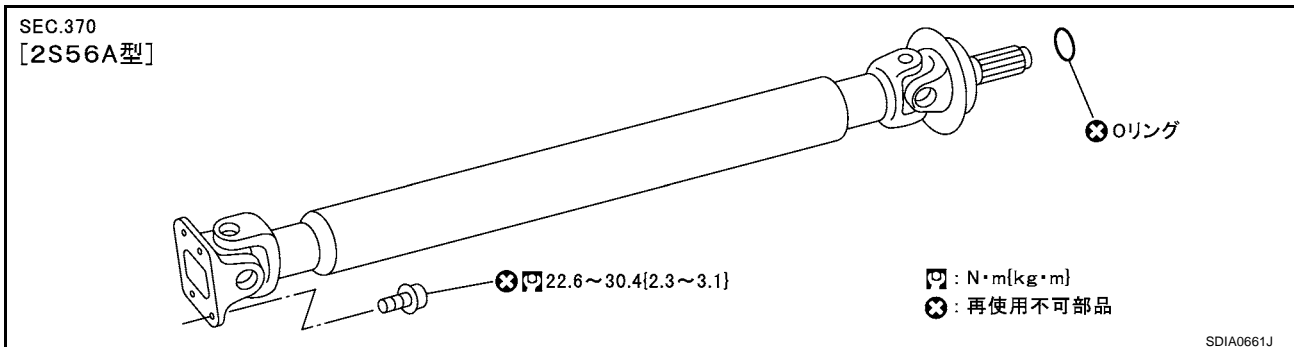
1. 振れが限度値を超えるときは、プロペラシャフトをファイナルドライブのコンパニオンフランジのところで分離し、コンパニオンフランジを90°、180°、270°回転させ再度組み付ける。
2. 振れを再点検する。NGの場合はプロペラシャフト ASSY を交換する。
3. 走行テストで確認する。

#### 外観及び異音点検

- プロペラシャフトに曲がり、傷がないか点検し、損傷がある場合はプロペラシャフト ASSY で交換する。

## 取り外し、取り付け

JDS002CS

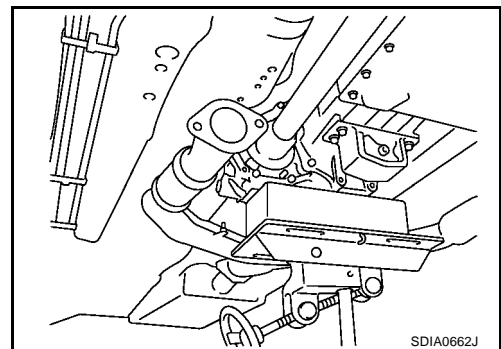


### 取り外し

1. エンジンアンダーカバーリヤ側を取り外す。
2. 触媒コンバータ（右バンク）を取り外す。
3. プロペラシャフトとフロントファイナルドライブのコンパニオンフランジ部に合いマークを付ける。

**注意：**合いマークはペイントなどを使用し、傷を付けないこと。

4. トランスファー部にミッションジャッキをセット後、リヤエンジンマウントのボルト（5本）を取り外し、ミッションジャッキを4～5cm下げる。



5. プロペラシャフトをフロントファイナルドライブ及びトランスファーより取り外す。

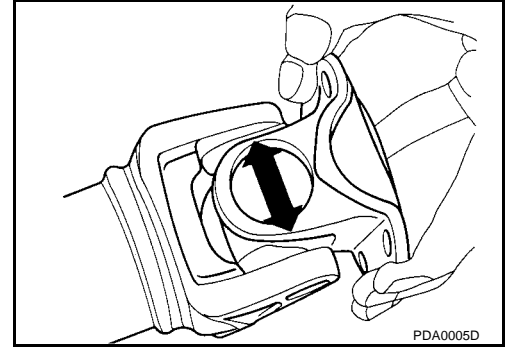
# フロントプロペラシャフト

## 取り外し後の点検

1. 図の要領で片側のヨークを固定し、ジョイントの軸方向の遊びを点検する。基準値を外れるものはプロペラシャフト ASSY で交換する。

軸方向遊び限度値 (mm) : 0

2. プロペラシャフトに曲がり、傷がないか点検し、損傷がある場合はプロペラシャフト ASSY で交換する。



## 取り付け

下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

- 取り外し時に付けたプロペラシャフトの合いマークとファイナルドライブコンパニオンフランジの合いマークを合わせて取り付け、規定トルクで締め付ける。

締め付トルク (N·m {kg·m}) : 22.6 ~ 30.4 {2.3 ~ 3.1}

- 取り付け後、走行テストを行いプロペラシャフトに振れがないことを確認する。振れが感じられる場合は、プロペラシャフトとファイナルドライブを切り離し、コンパニオンフランジを 90°、180°、270° ずらして再び取り付け、それぞれの位置でプロペラシャフトの振れを走行テストにより再点検する。

A

B

C

PR

E

F

G

H

I

J

K

L

## サービスデータ

### サービスデータ

PFP:37000

### プロペラシャフト軸方向遊び

JDS0024I

型 式	2S56A
ジャーナルベアリング軸方向遊び限度	0mm

### プロペラシャフト振れ

JDS0024J

振れ限度	0.6mm 以下
------	----------

### 締付トルク

JDS0024K

単位：N・m { kg・m }

プロペラシャフトフランジヨーク～コンパニオンフランジ	前側	22.6 ~ 30.4 { 2.3 ~ 3.1 }
	後側	—

## リヤプロペラシャフト

PF3:37000

### 作業上の注意

JDS0024L

ミッションジャッキをギヤキャリア部にセットする場合は、リヤカバー（アルミケース部）を避けること。

### 車載上の点検

JDS0024M

#### プロペラシャフト振れ点検

高速時に振動が発生しているときは、最初にプロペラシャフトの振れを点検する。

1. 車両をリフトアップする。
2. ファイナルドライブのコンパニオンフランジを手で回転させながら、プロペラシャフトの振れを4～5箇所測定する。

振れ限度値 : 0.6mm 以下

#### プロペラシャフト振れ測定点

1. 振れが限度値を超えるときは、プロペラシャフトをファイナルドライブのコンパニオンフランジのところで分離し、コンパニオンフランジを3F80A-1VL107型・3F80A-2VL107型は60°、120°、180°、240°、300°、3S63C型は90°、180°、270°回転させ再度組み付ける。
2. 振れを再点検する。NGの場合はプロペラシャフト ASSY を交換する。
3. 走行テストで確認する。

#### 外観及び異音点検

- プロペラシャフトに曲がり、傷がないか点検し、損傷がある場合はプロペラシャフト ASSY で交換する。
- センターベアリングより異音が発生していないか、また傷がないか点検し異音、傷があった場合はプロペラシャフト ASSY で交換する。

A

B

C

PR

E

F

G

H

I

J

K

L

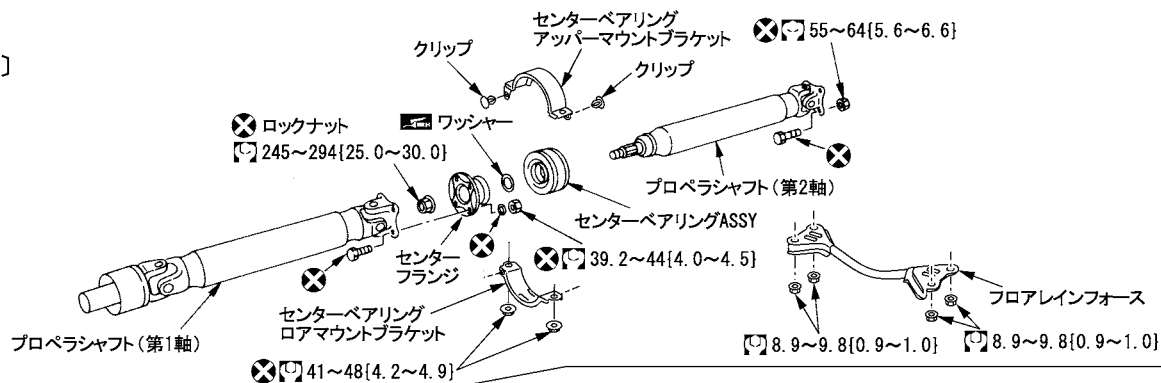
# リヤプロペラシャフト

## 取り外し、取り付け

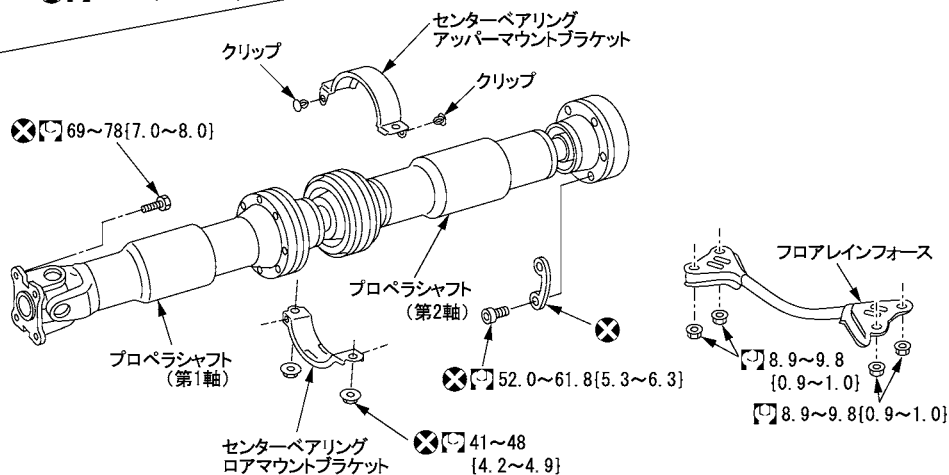
JDS0024N

SEC. 370

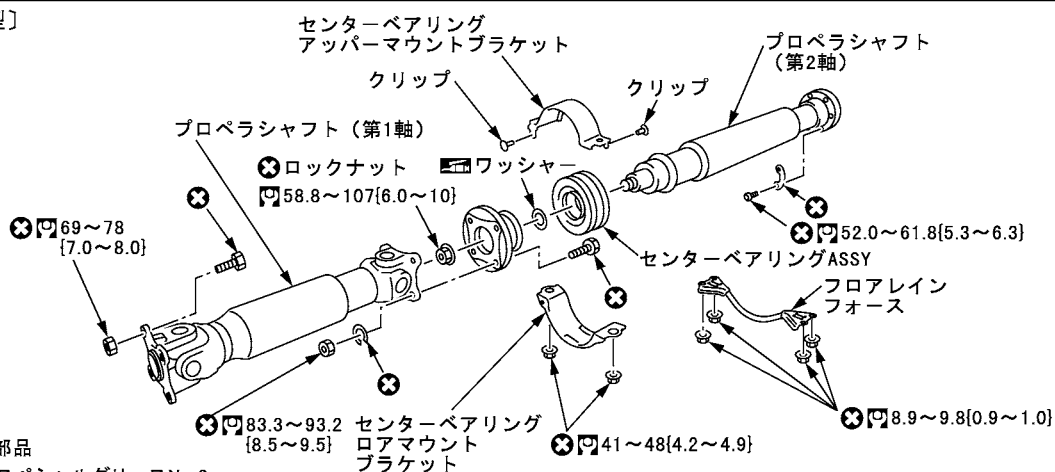
[3S630型]



[3F80A-2VL107型]



[3F80A-1VL107型]



⊙: N·m[kg·m]

⊗: 再使用不可部品

■: ニッサンMPスペシャルグリースNo.2

SDIA0672J

**注意:** ・ジョイントは全車非分解である。

・レブジョイント部ブーツをウエスなどで保護し、損傷等を与えないこと。

### 取り外し

1. プロペラシャフトとリヤファイナルドライブのコンパニオンフランジ又はジョイント部に合いマ - クを付ける。

**注意:** 合いマ - クはペイント等を使用し、傷を付けないこと。

2. センターマフラーを取り外す。[「エキゾーストシステム」\(EX-2ページ\)](#)を参照すること。

3. ヒートインシュレーターを取り外す。

4. フロアレインホ - スを取り外す。

5. センタ - ベアリングマウントブラケットの取付ナットを緩める。

# リヤプロペラシャフト

**注意：** ナットは仮止めしておくこと。

6. プロペラシャフトをリヤファイナルドライブより取り外す。
7. センター - ベアリングマウントブラケットの取付ナットを外し、プロペラシャフトを車両より取り外す。

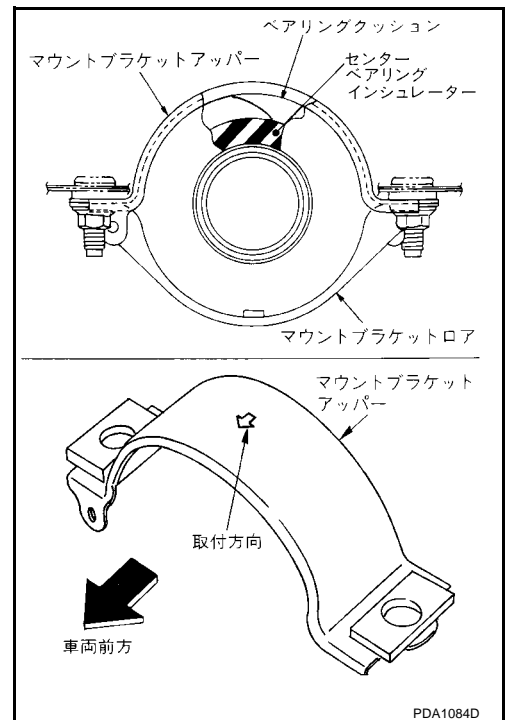
## 取り付け

1. 取付は下記の作業に注意し、取り外しの逆の手順で行なう。
  - a. 取り外す時に付けたプロペラシャフトの合いマ - クとファイナルドライブコンパニオンフランジの合いマ - クを合わせて取り付ける。
  - b. センターベアリングマウントブラケット取付ナットは、下記規定トルクで締め付ける。

締付トルク : 41 ~ 48N・m ( 4.2 ~ 4.9 ) kg・m

- c. インシュレ - タ - に車両前後方向のたわみを与えないようにマウントブラケットの前後位置を調整して、車両に取り付ける。

**注意：** アップ - マウントブラケットの取付方向を図のように、矢印を車両前方に合わせること。

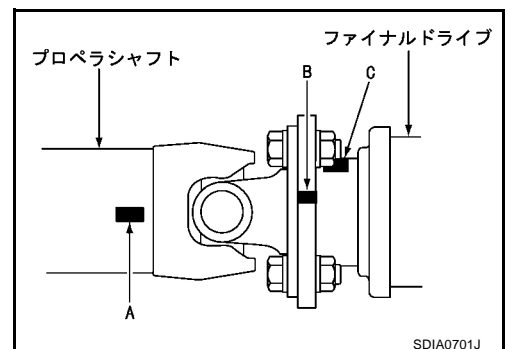


2. プロペラシャフト、ファイナルドライブを交換した場合は、下記要領にてプロペラシャフトとファイナルドライブを締結する。

**注意：** レプロジョイント部ブーツをウエスなどで保護し、損傷等を与えないこと。

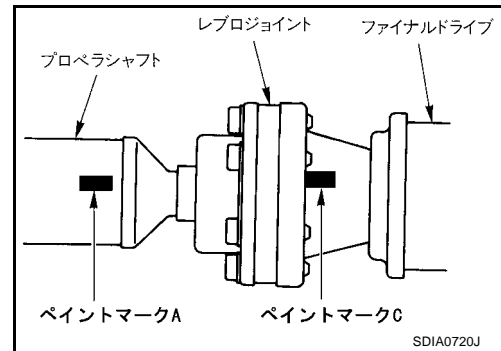
### • 3S63C 型

- a. ファイナルドライブジョイント部のマ - クCを上方にする。
- b. マ - クCを上方にしたまま、ファイナルドライブ側のプロペラシャフトの合いマ - クAがジョイント部の合いマ - クBと出来るだけ近い位置となるように取り付け規定トルクで締め付ける。



## リヤプロペラシャフト

- 3F80A-1VL107 型・3F80A-2VL107 型
  - a. ファイナルドライブ側のプロペラシャフトの合いマーク A がジョイント部の合いマーク C と出来るだけ近い位置となるように取り付け規定トルクで締め付ける。



- 取り付け後、走行テストを行ないプロペラシャフトに振れがないことを確認する。振れが感じられる場合は、プロペラシャフトとファイナルドライブより取り外し、コンパニオンフランジをファイナルドライブ側、3F80A-1VL107 型・3F80A-2VL107 型は 60°、120°、180°、240°、300°、3S63C 型は、90°、180°、270° ずらして再び取り付け、それぞれの位置でプロペラシャフトの振れを走行テストにより再点検する。

## 分解、組み立て

JDS00240

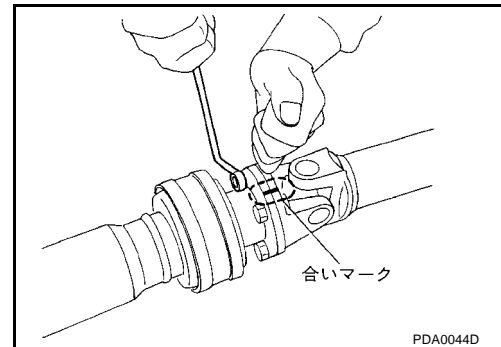
### 分解

#### センターベアリング

- 注意:** • ジョイントは全車、非分解である。
- センターベアリング部、3S63C 型及び 3F80A-1VL107 型は分解可能である。

1. プロペラシャフト ASSY を取り外し、フランジマ - ク部に合いマ - クを付け、第 1 軸と第 2 軸を分解する。

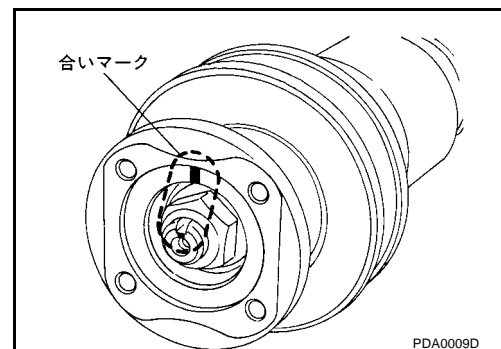
**注意:** 合いマ - クはペイント等を使用し、傷を付けないこと。



2. フランジとシャフトに合いマ - クを付ける。

**注意:** 合いマ - クはペイント等を使用し、傷を付けないこと。

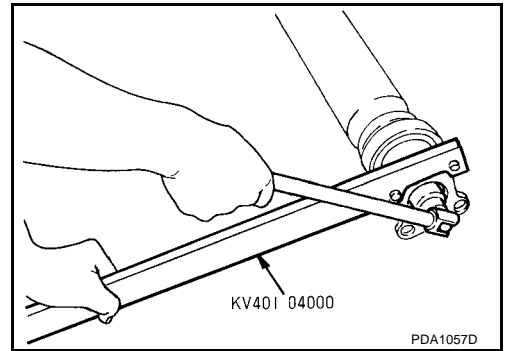
3. ロックナットのカシメを外す。



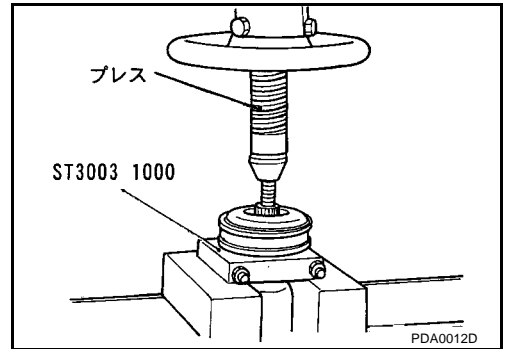


## リヤプロペラシャフト

4. フランジレンチ (特殊工具) を用いて、ロックナットを取り外す。
5. プ - ラ - (汎用工具) を用いて、センタ - フランジを取り外す。

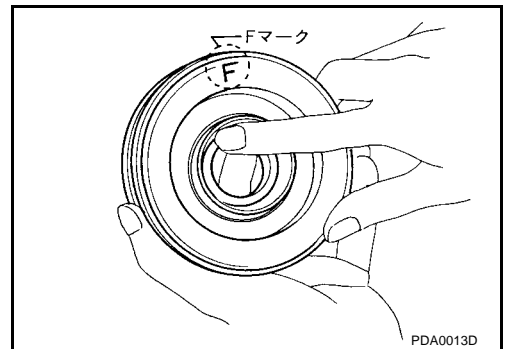


6. ベアリングプレ - サ - (特殊工具) 及びプレスを用いて、センタ - ベアリングを取り外す。



### 組み立て

1. センタ - ベアリングの両端及びワッシャ - の両面にニッサンMPスペシャルグリス No. 2 を塗布し、F マ - クを車両後方に向けてプロペラシャフトに取り付ける。
2. 合いマ - クを合わせてフランジとシャフトを取り付ける。
3. トルクレンチを使用し、ロックナットを規定トルクで締め付ける。



**注意:** 3F80A-1VL107 型のロックナット締め付け方法

- a. ロックナットを締め付ける。

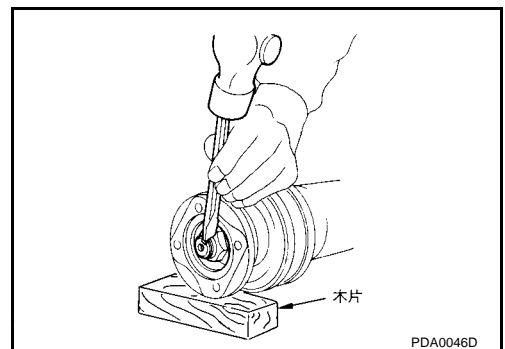
締め付けトルク : 294N・m { 30kg・m }

- b. ナットをゆるめ、再度ナットを規定トルクで締め付ける。

締め付けトルク : 58.5 ~ 107 { 6.0 ~ 10.0kg・m }

**注意:** ロックナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

4. ロックナット締め付け後、図のようにプロペラシャフトの下に木片を置き確実にカシメる。

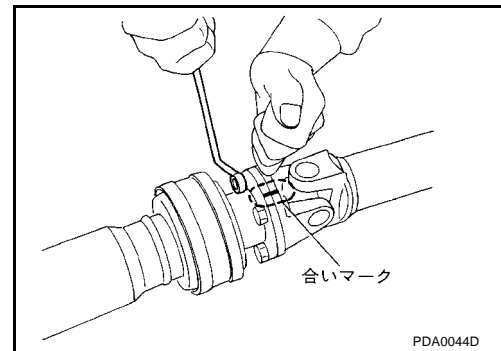


## リヤプロペラシャフト

5. 第1軸と第2軸のフランジ部の合いマ - クを合わせて取り付け、規定トルクで締め付ける。

**注意：**取付ボルト及びナット、ワッシャ - は再使用不可部品のため、再使用しないこと。

6. トルクレンチを使用して、取付ボルト締め付け後の確認を行なう。
7. プロペラシャフト ASSY を取り付ける。



## サービスデータ

### サービスデータ

PF3:37000

### プロペラシャフト軸方向遊び

JDS0024P

型 式	3S63C	3F80A-1VL107・3F80A-2VL107
ジャーナルベアリング軸方向遊び限度	0mm	

### プロペラシャフト振れ

JDS0024Q

型 式	3S63C	3F80A-1VL107・3F80A-2VL107
振れ限度	0.6mm 以下	

### 締付トルク

JDS0024R

単位：N・m { kg・m }

型 式	3S63C	3F80A-1VL107・3F80A-2VL107
センターベアリングブラケット	41 ~ 48 { 4.2 ~ 4.9 }	
プロペラシャフトフランジヨーク ~ コンパニオンフランジ	前側	—
	後側	55 ~ 64 { 5.6 ~ 6.6 }
		69 ~ 78 { 7.0 ~ 8.0 }
		52.0 ~ 61.8 { 5.3 ~ 6.3 }

A

B

C

PR

E

F

G

H

I

J

K

L

